

江東区みどりの基本計画改定委員会における計画書の内容に関する意見と対応

テーマ	主なご意見	対応	該当頁	会議
共通				
協働の考え	・「価値を実感できるみどり」はとても重要であるが、みどりの価値や魅力を実感してもらうステップの前に、魅力づくりに参加できる枠組みがあるとよい。	・「第3章基本方針」において、本計画における、みどりをより柔軟に使う視点、みんなで守り育て伝える視点を整理した。		第1回
	・区民の参加・協働について、しっかり項目として位置付けたほうがよい。協働や連携によって事業を進めていくことを、みどりの基本計画の中で位置付け、流れを作れるとよい。	・あわせて、「第7章 推進体制・進行管理」において、各方針における協働による活動のイメージを整理した。		第1回
概要版	・区民は計画書よりも概要版のパンフレット等を読むことになるかと思うので、分かりやすく整理してほしい。	・計画書は、行政計画書として必要な内容を押さえる必要があることから、ボリュームを減らすことは難しい。そのため、計画書とは別に作成を想定している概要版を区民に見てもらえるように分かりやすく簡潔なものとして整理する。		第5回
	・会議資料の内容なども区民にとっては難しい。読んでもらうためにはボリュームも半分程度でよいのではないか。			第5回
第1章 計画改定に当たった考え方				
2 本計画における「みどり」の定義				
	・みどりの定義が難しい。もう少しかみ砕いた表現にしてもらいたい。	・分かりやすく修正した。	p 1	第4回
5 みどりを取り巻く社会動向				
社会情勢の変化	・最近ではSDGsの考え方も浸透し始めている。江東区の現行の都市マスタープランや環境基本計画では、SDGsの考え方は盛り込まれていないが、今回の計画ではぜひそうした考え方をいち早く盛り込んでいただくと、10年先も使える計画になると思う。新宿区の緑の基本計画では、SDGsの考え方が盛り込まれている。	・社会情勢の変化に「④持続可能な開発目標（SDGs）」を追加するとともに、SDGsとみどりの基本計画に関連するコラム、グリーンインフラに関するコラムを追加した。 ・4つの基本方針別に、関連するSDGsのゴールを整理した。	p3 p4 p13 p56	第2回
	・みどりの機能の捉え方も変化しており、10年前の4つの機能ではなく今回は8つの機能で捉え直そうということである。グローバルスタンダードで考えると、グリーンインフラやSDGsといった考え方についても、前提としてきちんとおさえておくべきとのご意見だと思う。それがいくつかの施策にも反映されるとよい。			第2回
国の動向	・都市公園法の改正が記載されているが、都市緑地法も改正され、民間による市民緑地の整備を促す制度ができた。また、江東区には生産緑地はないが、都市農業振興基本法が成立し、国としても都市農業の振興に力を入れている。江東区内には農に取り組みされている民間の事業者さんもあり、連携の可能性なども考えられる。都市公園法だけでなく、広くみどりの動向を捉えられるとよい。	・都市緑地法の改正や国としては都市農業の振興を推奨しているという背景についても、「①新たな時代の緑の政策展開」として整理した。 ・市民緑地認定制度等による公園施設の整備など、民有地の活用について整理した。	p 5 p 53 p 73	第2回
	・グリーンインフラという言葉も最近、よく出ている。みどりのもつ防災機能なども注目されている。基本計画をまとめる段階ではそうした考え方も示していけるとよい。	・「②グリーンインフラとしてのみどりの多機能性の発揮」において、「防災」の視点も含めて整理した。	p 5	第2回

6 みどりの機能				
	<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画の政策分野における「産業・生活」とみどりの関係とは、観光や商店街の活性化とみどりの関係という認識でよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光や商店街の活性化等含む、江東区観光推進プラン、江東区オリンピック・パラリンピック開催準備プラン、豊洲地区運河ルネサンス計画書などにおいて、みどりや水辺に期待されていることを整理し、みどりのもつ「コミュニティ形成」、「観光・にぎわい」、「歴史・文化」の機能として捉えて整理した。 	p11 P12	第1回
	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの機能はどれも重要だが、一般区民には多くて覚えるのが大変である。最終的にはモレやダブりをなくし、3つぐらいに絞るかまとめる等を検討されてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書では、多様な機能があることを明らかにすることを重視し、8つの機能として整理し、基本方針は4つに整理した。 	P10 -12	第2回
第2章 江東区のみどりの現状と課題				
1 江東区のみどりの現状				
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の「みどりと自然の基本計画」に書かれていることが、実際にどこまでできているのか、なぜできなかったかなどフィードバックの資料があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成状況については本計画における目標とともに整理した。 ・施策の進捗については、「CIGビジョンにおける施策の進捗状況」として整理した。 	P15 P22 P23	第1回
	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性やコミュニティづくりの状況、協働の取組の状況なども何らかの指標で評価できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状については機能分析の中で整理した。 ・新たなに、4つの基本方針別に区民評価に関する目標を設定した。 	P47 P48	第1回
CIGビジョンにおける施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の進捗状況について、区としてどのように評価されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CIGビジョンにおいて取組を位置付けたものの、区と民間の役割分担が明らかでなかったこと、区が主体で進める公園整備などは進んできた半面、それ以外の施策が進んでいないといった状況もある。進捗状況は、「CIGビジョンにおける施策の進捗状況」として整理した。 	P22 P23	第2回
みどりの機能分析（共通）	<ul style="list-style-type: none"> ・機能解析については、区民や団体の意見から問題点を導くのではなく、専門的な視点から、地図上できちんと整理すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討の中で図上に整理し、その際の分析内容を計画書に整理した。 	P24- P27	第2回
	<ul style="list-style-type: none"> ・フィジカルな機能解析が必要である。 			第2回
	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな公園は公園名が入っているとわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別取組方針において、主要なみどりとして整理した。 	P93- P130	第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・江東区のイメージはよくなってきている。機能解析の資料をみると、区内にはみどりに関する多くの資源があることがわかる。じゃぶじゃぶ池なども、ぜひ入れていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討資料の中で、じゃぶじゃぶ池などは図上に追加した。 		第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の皆さんは、身近な公園の魅力は知っていても、住んでいる地域以外のことは知らないかもしれない。この解析結果が一目瞭然とわかるようにブラッシュアップされると、区民の皆さんに江東区のみどりの魅力を知ってもらえるものになると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見は検討資料において機能分析図として整理した。 ・また、「●みどりの魅力発見に向けたマップやホームページの作成」としてみどりの情報発信に関する施策を位置付けた。 	P86	第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として公共の取組が中心で、事業者の取組みが反映されていない。NECによる新木場駅でのハーブガーデンづくりや竹中工務店の取組、ディベロッパーとの協働による亀戸六丁目公園の公園づくりなど、民間は先進的な取組をしている。それを追記するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の中で区民・事業者による緑化の推進に関する施策を位置付け、事例写真等を追加した。 	P59 P61 P70 P80	第3回

	<ul style="list-style-type: none"> ・各資料に、オリパラの施設を記載すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別の取組方針図に記載した。 	P123 P129	第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・中央防波堤も記載しておくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・追加できる図には追加した。 		第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの学校、えこくるビオトープ、新砂干潟、越中島小ビオトープの表示がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別の取組方針図に追加した。 	P105 P123 P129	第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・船の科学館駅については、名称変更予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別の取組方針図に反映した。 	P123	第3回
みどりの機能分析（環境・生物多様性）	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランド現象の緩和に向けては、気候そのものを改善する緩和策と影響を緩和する適応策という考え方がある。クールスポットを増やすことも適応策になる。適応策の考え方について、記載してほしい。「木陰」に関する記載も随所にあり、江東区はヒートアイランド現象の緩和に資する資源が多くある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する特徴・問題点において適応策について記載した。 ・「基本方針3 みどりを安全と生命を支えるために充実させます」の中で適応策も踏まえた考え方を整理し、「3-2-1 みどりで快適なまちをつくります」において、適応策を施策として位置付けた。 	P24 P43 P77-p79	第2回
	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度中間見直しを予定している環境基本計画においても、ヒートアイランド現象の緩和に向けた取組を位置付けている。 			第2回
	<ul style="list-style-type: none"> ・aster 衛星画像について、計画策定当初と比較し、緑地の増減と温度上昇の関係性等を分析することはできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査日時や天候条件などが同一ではないため、厳密な比較は難しい。 		第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・トンボを指標種とすることはよい。止水域がトンボの生息可能な場所として示されているが、種によっては河川など流水域でも生息可能なものもあるため、どのような種を対象としているのかを明確にしておくべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫調査地点10か所のうち、「若洲橋」以外の全ての調査地点で確認された「シオカラトンボ」を主な対象とする。 ※シオカラトンボは広範な止水域に生息し、各地にもっとも普通に見られる。公園の池など人工的な水域にもすむ。基本的には流水域に生息することはない。 出典：河川生態ナレッジデータベース http://kasenseitai.nilim.go.jp/シオカラトンボ 		第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・トンボを指標種とすることは、広く生き物の多様性を評価することにもつながることであり、よい。ただし、種を絞ることは必要である。 			第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポケットエコスペースの凡例について、「生物多様性」と「子育て・教育」で異なっているが、意図があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な意図はないため統一した。 		第3回
みどりの機能分析（子育て・教育）	<ul style="list-style-type: none"> ・例えばキャンプができる若洲公園など、アウトドア活動ができる場所も子育て・教育の資源として表示するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水上アスレチックやじゃぶじゃぶ池などの資源もあるため、それらの資源を「アウトドア活動ができるスポット」として追記した。 		第3回
みどりの機能分析（コミュニティ形成）	<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティガーデン」と「住宅団地のオープンスペース」の凡例が見分けづらいため修正すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修正した。 		第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・世代ごとの楽しみ、世代間の交流もあるかと思う。そうした視点が反映できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「2-1 みんなが楽しく使える公園づくり」、「2-2 みどりを使ったコミュニティづくり」において、ニーズに応えた公園づくりやみどりによる交流の視点を整理した。 	P66-P73	第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター等は、講座等を開催する際に活用できるため、関連する資源として表示するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センターを追加した。 		第3回
みどりの機能分析（歴史・文化）	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化の普及啓発も大切であり、そのためにも文化センター等が活用できるため、ここでもそれらを表示するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センターを追加した。 		第3回

みどりの機能分析(防災・減災)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に資するみどりの役割も明示する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの持つ防災・減災の機能に関する特徴と問題点を整理した。 ・「3-1 みどりが支える安全・安心なまちづくり」において防災にみどりを活かしていく施策を整理した。 	P26 P74-P76	第1回
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の面からは、みどりの延焼防止の機能をどのように捉えるか。河川や河川沿いの緑化は延焼防止の機能を果たしていると思うが、木造住宅密集地域でのみどりの役割なども記載されるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの持つ防災・減災の機能に関する特徴と問題点を整理した。 ・「みどりによる安全な避難路の確保」としてみどりの延焼防止機能を高めていくことを整理した。 	P26 P75	第2回
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画において、「防災空地」の指定があるので表示するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災空地は主に区立公園等が指定されており、公園は記載されているので、地域防災計画と一致している。 		第3回
みどりの機能分析(健康・福祉)	<ul style="list-style-type: none"> ・江東区の特徴である河川や水路、緑道をどのように評価するかが大切である。健康・福祉の側面からは、連結性も重要だが、その点について問題点・課題で触れられていない。ウォーキングのほかにも、避難路や生き物の移動経路としても連結性は重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・福祉をはじめ、防災・減災などネットワークの視点も含めて、特徴と問題点として整理した。 ・「2 課題」として、ネットワーク化推進の視点を整理した。 	P26 P27 P33	第3回
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の分布だけでなく、健康・福祉関連のプログラムの実施状況についても表示できるとよい。生物多様性に関しては、生き物観察等のプログラム等もあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・教育、コミュニティ形成、健康・福祉、観光・にぎわいなどの機能の視点から、みどりが活用されている状況の特徴として整理した。 	P25-P27	第3回
みどりに対する区民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの満足度に関して、満足している理由が書かれているが、逆に満足していない理由は把握しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回調査では設問があったが、満足している理由の裏返しであったので、今回は設問を設定していない。 		第3回
みどりに対するCIG 区民サポーター会議・区民団体の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ポケットエコスペースが減っている理由や課題についても整理しておくべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポケットエコスペースの数は年々増加しており、ボランティアの高齢化等の問題については、「区民活動」に関する意見として整理した。 	P31	第3回

2 課題

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの課題(例)として分野別の課題とあるが、長期計画にける政策分野を指しているという認識でよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画も踏まえつつ、6つの課題に整理した。 	P32-34	第1回
	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の課題の整理は機能解析からみる問題点を踏まえたものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機能解析に加え、目標達成状況や施策の進捗状況、アンケート結果等を踏まえて整理した。 	P32-34	第2回
	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの機能を従来の4つから8つにしたということだが、6つの課題とどのように対応しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの8つの機能は、課題を総合的に導き出すための検討項目の1つとして捉え整理した。 	P32	第2回
	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの機能と6つの課題の対応がわかりづらい。8つの機能からみた課題もあると思うが、各機能からの分析が6つの課題に反映されていないように見える。計画をつくっていく段階ではそうした分析が必要だと思うが、今後分析をされるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの機能と6つの課題の対応関係をフローの中で整理した。 	P32	第2回
	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの機能が課題とうまくリンクしていない。区民サポーター会議・区民団体からの意見などをみると、8つの機能からご意見をいただいている。区民意見からは、みどりを増やすことより、みどりとのかかわりを増やしたいという意向が強いように読みとれる。また、この10年間の取組の中で不十分だったことを意見として出していると思う。そうした区民の意見が2ページの8つの機能からみた問題点に反映されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの機能分析は区のみどりのフィジカルな特徴・問題点を地図上にまとめながら整理している。区民意見等に関しては、みどりに対する区民アンケートやみどりに対するCIG 区民サポーター会議・区民団体の意見として整理した。それらを踏まえて、6つの課題を整理した。 	P32-34	第2回

	い。区民の意見を踏まえた各機能の問題点として整理されていない。			
多様なニーズに応える公園づくりが必要	・課題（２）について、ただ「多様なニーズに応える」だけでなく、どのような方向性を目指すのか（例えば暮らしの質の向上など）を示すことが必要である。	・課題の説明の中に「暮らしの質を高める」等の文言を加えた。	P33	第２回
質の高いみどりを増やすことが必要、みどりの大切さを知ってもらうことが必要	・課題（３）と（４）については、内容が重複する。	・課題（３）はみどりの質を高めていく点について、課題（４）はみどりの普及啓発に関する視点について整理した。	P33 P34	第２回
みどりの大切さを知ってもらうことが必要	・みどりに関心の低い層をどのように巻き込むかが課題だと思う。パブコメまでに区民の関心が高まり、パブコメでたくさん意見が出てくるとよい。 ・より多くの方に CIG に関心をもっていただき、より区民と区のニーズがあったプランができればよい。まずは来年 10 月のパブリックコメント募集の際、多くのお声をいただけるような流れを早めにつくっていければと思う。次回から、計画の内容に併せてこの流れについても討議できればと思う。	・今後の取組とはなるが、重点施策として、総合ポータルサイトの立ち上げによる情報発信を整理した。	P92	第２回
区民・事業者との連携を加速させることが必要	・施策の推進にあたって民間との連携が課題という認識でよいか。	・公共でのみどりの充実には限界があるため、区民・事業者との連携を加速させることが必要と認識しており、課題の 1 つとして位置付けた。	P34	第２回
第 3 章 基本方針				
2 みどりの将来構造				
みどりの拠点	・「拠点」の役割がわからない。「みどりの拠点となる大規模な公園において」との記載は、単に大きいからという理由で拠点になっているように捉えられてしまう。	・設定の考え方を「みどりの多様な機能を発揮し、地域の中心となる公園緑地」と修正した。	P38	第 3 回
	・大きな公園だけが拠点になっているが、小さな公園にも防災やコミュニティなどの機能がある。大規模な公園だけが拠点でなく、小さな公園も拠点としてとらえていくことが必要ではないか。			
	・今後は、大規模な公園・小規模な公園の役割分担が必要になるのではないか。			
	・「みどりの拠点」は個人的には現行のままがシンプルで区民には浸透しやすいのではないか。			
みどりの網	・区全域が緑化重点地区となっているが、今後、地区別取組方針をまとめるのであれば、地区ごとの個性を踏まえてどのような魅力づくりをしていくのか、検討していく必要がある。	・地区別取組方針において、各地区の資源を整理しながら、取組方針を整理した。	P94- P129	第 3 回
3 基本方針				
全般	・ 4 つの方針はよいと思うが、より引き付けられるようなインパクトのある表現があるとよい。「みどりをより柔軟に使える」というだけでなく、「楽しんで使える」、「健康維持につながる」などが感じられる表現があるとよい。	・ 方針の文言はシンプルさ・わかりやすさを重視してそのままし、「楽しんで使える」「健康維持につながる」等の考え方を、方針の解説として整理した。	P43	第 3 回
	・「みどりをより柔軟に使える」というのは、みどり（植物）が減少する方向につながるのか、心配である。			

基本方針 4 みどりをみんな で守り育て ます	・「みどりをみんなで守り育てます」という文言自体はよいが、具体的な施策にどのようにつなげていくかが重要である。江東区はこれまでも区民との協働の取組は進められてきたが、今後は事業者との連携も重要である。	・「4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり」、「4-2 みどりの大切さを伝える仕組みづくり」を施策の柱として整理し、区民や事業者による活動の支援について整理した。	P80-P86	第 3 回
4 目標				
全般	・次期長期計画の成果指標と整合が図られるように。	・次期長期計画に記載される成果指標を踏まえて設定した。	P44-P46	第 3 回
	・「計画の達成状況を示す目標」について、数値を示した方がよい。	・「計画の達成状況を示す目標」及び「区民評価に関する目標」については、実績値管理を想定する「区立施設における新たな緑化面積」を除き、具体的な数値での目標値を設定した。	P45-P46	第 3 回
	・緑被率について、平成 24 年度比で減少している。今後、目標達成を目指す上では、民間に協力を求めるだけでは限界があるといった課題も整理しておく必要がある。例えば、代償措置義務付けや、新規の大型建築物について屋上緑化（または広い意味でのみどりということ太陽光パネル）を義務付けるようなことが必要になるかと思う。	・「1-2 みどりを活かしたまちなみづくり」において、緑化指導による緑化推進を整理した。 ・「4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり」、「4-2 みどりの大切さを伝える仕組みづくり」を施策の柱として整理し、区民や事業者による活動の支援や新たな資金の活用について整理した。	P61 P80 P84	第 3 回
	・現状値の年次が異なるのはなぜか。	・調査によって時期が異なる年次にばらつきがある。	P44	第 4 回
	・前提としてのポテンシャルを把握するという意味で、例えば保護樹木は減少しているところがあるが、その理由が見えると良い。また、生垣緑化や屋上緑化の助成件数が伸び悩んでいるというのはなぜか。	・区として助成金は出しているが条件があり、建築物の改築の際の樹木の伐採などが理由として考えられる。生垣緑化に関しては震災時の問題などから PR はしているが、生け垣にするとメンテナンスの負担が大きいのが理由の 1 つとして考えられる。		第 4 回
	・目標の設定にあたっては定量的評価、定性的評価が考えられるが、定量的な表現のほうが区民には分かりやすいのではないか。みどりが増えたことを数字で示せると良い。	・緑被率や緑視率などはじめ、計画の達成状況を示す目標に関しては定量的に設定した。	P45-P46	第 4 回
	・区立施設における新たな緑化面積は、学校などをイメージしているか。	・改築、大規模改修等、学校を含めた一定規模以上の区立施設を想定している。そのため、実績管理指標として整理することとし、目標値は設定しない。	P46	第 4 回
・国土交通省の調査では、25%を超えるとみどりが多いと感ずるとされている。区全体で何%増加したかといった整理よりも、25%を超える地区がどれくらいあるか、どれだけ増えたかといった捉えの方が、区民評価に関する目標に寄与するのではないか。	・ご指摘を踏まえて、全区の緑被率や緑視率に加えて、本編では一定の目標値以上の町丁目や調査点がどの程度あるかを参考値として整理した。	P45	第 4 回	
・緑被率においても、30%を超えるとみどりの評価がよいと昔から言われているが、同様に区全域で何%増加したかといった整理よりも、一定の目標値を超える地区がどれくらいあるかといった方が目標値として意味があるのではないか。			第 4 回	
・長期計画において、1 人当たりの公園面積でなく、公園の総面積を目標値として整理するとあったが、公園の総面積を示	・みどりの基本計画においては 1 人当たりの公園面積を参考値として併記する形で整理した。	P46	第 4 回	

	<p>されても区民には分からない。1人当たりの公園面積の方が分かりやすいのではないか。近年の人口増加で数値が下がってしまうのは仕方がないと思う。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> 区立施設における新たな緑化面積が実績管理指標とあるが、10年後には民間事業者と連携してここまで緑化進めていくといった数字は記載できないか。今は難しいと思うが、10年後なら可能性はあるかとおもう。そこにお金をかけるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間の開発動向によるものが大きく、今のトレンドをそのまま維持するといった整理が難しい。 	P46	第4回
	<ul style="list-style-type: none"> NYでは、歩いて10分の場所に公園がある率を示しており分かりやすい。そうした切り口での整理はできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般的に公表されているデータなどからではその分析は難しい。 		第4回
	<ul style="list-style-type: none"> 街区公園の誘致圏域が半径250mであることから、現行計画では各公園から250mの同心円を描き、身近な公園が不足する地区を整理しているがそれは示さないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「第2章 みどりの現状と課題」の「1(1)③公園の整備状況」に整理した。 	P21	第4回
区民評価に関する目標	<ul style="list-style-type: none"> 緑被率や緑視率は量の目標だが、SDGsは質に関するものも含まれる。企業もSDGsを指標として動き出している。区民もそうした方向性を求めているのかと思うが、課題が10年前とあまり変わらない。QOLを高めるなど質に関する「ものさし」も必要である。連携・協働が必要であれば、協働の数などを指標にしてもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに、「区民評価に関する目標」を設定した。 	P47 P48	第2回
	<ul style="list-style-type: none"> 区民評価に関する目標を位置付けることは良いが、この指標にした理由付けを明確にした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 4つの基本方針に対応する評価指標として、アンケート調査から把握した指標から整理した。 	P47 P48	第3回
	<ul style="list-style-type: none"> 「みどりをより柔軟に使えるようにします」の区民評価目標は「週一回以上公園もしくは水辺もしくは潮風の散歩道を利用している」と変更されると、施策の結果が数値化しやすくなると思います。 			第3回
	<ul style="list-style-type: none"> 区民評価に関する目標はアンケート等で把握していくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期計画で調べる指標はそれを活用し、その他の項目は世論調査を活用することを想定している。 		第4回
	<ul style="list-style-type: none"> 区民評価に関する目標値を設定したことは大きく前進した点かと思うが、より目標と施策の関係性が見える化できるとよい。重点施策での整理になるかともうが、そこが明確であると担当が変わっても考え方が引き継がれていくと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 重点施策では目標値となる指標と連動する形で整理した。 	P88-P92	第4回
5 公園・緑地の整備方針				
公園整備の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 公園が増えると、区民もみどりが増えた実感できてありがたい。整備や管理には予算がかかると思うが、落ち葉の問題等も指摘されており、整備はもちろん管理も含めて推進していただけるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 4つの基本方針に基づく、公園・緑地の整備の考え方を整理した。 	P49-P51	第3回
	<ul style="list-style-type: none"> 「設定しています」といった表記になっており現状を伝えているだけになっている。区としての公園整備の考え方を明確に示す必要がある。 			第4回
	<ul style="list-style-type: none"> みどりの将来構造において、みどりの拠点として位置付けられている公園は都立公園だけか。多様な機能の向上を目指すとするが、そのためにどのような整備をしていくか示すべきである。 			第4回

優先整備 区域	・東京都として優先整備区域としている公園は整備をしていくということではないのか。設定されているが実際には整備は難しいということか。	・東京都の方針と整合を図りながら、都と連携して整備を進めていく考え方を整理した。	P52	第4回
	・優先整備区域は2020年までに優先的に整備を進めるとあったが、他の公園に関しては、整備の目標となる期間は見えないのか。	・具体的な整備の目標時期を示すことは難しいが、整備が予定されている公園等は具体的な名称を記載した。	P52	第4回
	・優先整備区域の選定根拠が分からない。どういった意図で選ばれ、どのような考えをもって整備するか示されると良い。	・東京都の都市計画公園・緑地の整備方針において、以下の視点から重点化を図るべき公園・緑地を評価し設定している。 ・地域の重要性：「防災」、「環境保全」、「レクリエーション」、「景観、魅力」、「水と緑のネットワークの形成」 ・整備効果：「早期に整備効果を高める」、「公有地を効果的に活用できる」、「速やかにまとまった規模の用地を確保できる」、「他事業等との連携により一体的な整備ができる」、「地元関係者の協力が得ることができる」		第4回
海上公園	・海の森公園に関する記載を追加する。	・海上公園の整備に関する内容とあわせて整理した。	P52	第4回
水辺の整備	・水辺に関しては、ひとまとめに記載されている。優先的に整備するなどの方向性があるのであれば、方向性を記載されると区民にわかりやすい。	・護岸工事や近隣住民との合意など、整備環境が整った区間から整備を進める考え方を記載するとともに、整備対象となる区間を図示した。	P52 P54	第4回
既存公園・ 緑地の改修	・「公園施設長寿命化計画」の策定も視野に〜とありはっきりしない記載となっているが、実際に策定するのか。	・「公園施設長寿命化計画」を策定し〜といった記載に修正した。	P53	第4回
	・個別の公園改修の記載があるが、一定の地区における公園の機能再編等についても示したほうがよい。	・ご指摘を踏まえて、「街区公園・児童遊園の機能再編」の考え方を追記した。	P53	第4回
区民や事業者との連携による公園・緑地の整備	・区民や事業者と連携した公園整備に関する記載は施策の中ですることとし、ここでは示さないのか。	・基本的な考え方「より柔軟に使えるような公園・緑地をつくります」において整理した。 ・施策としては、「2-1 みんなが楽しく使える公園づくり」、「4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり」において整理した。	P50 P66 P80	第4回
	・市民緑地の認定制度等もあれば、あわせて整理できるとよい。	・ご指摘を踏まえて、「公園以外の緑地の確保」として、官民連携によるみどりの整備に関する内容を追記した。	P51 P53	第4回
法改正等	・法改正が行われ社会情勢が変わってきている中で、内容が薄く感じる。そうした背景等をも含めた記載があるとよい。			第4回
整備後の緑被率の評価	・ここで記載している公園が整備された際に、どの程度緑被率が上がるが可能であれば示せるとよい。	・緑被率は航空写真から算出しており、単純に公園面積と同等ではないことから、公園整備によりどの程度緑被率が上昇するか示すことは難しい。		第4回
第4章 施策				
全般	・アンケート結果などは反映されているか。	・できる限り反映している。		第4回
	・本編では施策は具体的な記載と写真等が追加されるという認識でよいか。	・具体的で分かりやすい平易な文章にしつつ、写真等を追加した。		第4回
	・4つの基本方針の表現は分かりやすいが、それぞれの施策の内容をみると難しく感じる。説明が難しくなるのはしょうがないと思うが、白抜きの事業名に関してはもう少し具体的になると分かりやすい。	・ご指摘を踏まえて、分かりやすい表現となるように調整した。		第4回

	<ul style="list-style-type: none"> 各施策がグリーンインフラやSDGsなどどう対応しているか整理できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各方針に主に関連するSDGsの目標を整理した。 	P56	第4回
	<ul style="list-style-type: none"> 学校の改修にあわせて屋上緑化をする計画があるが、その維持管理を地域の方に依頼しても断られてしまう状況である。区としての緑化に対する姿勢がしっかり示せると変わってくるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 区民・事業者・行政それぞれが主体的に緑化を進め、みどりを保全することを、計画全体を通して整理した。 		第4回
	<ul style="list-style-type: none"> 小規模公園は、「みどりをみんなで守り育てます」の目標の施策に入れて区民主体で小規模公園の美化対応するのはどうか。付随して、「みどりを水彩都市・江東の魅力づくりに活かします」の施策イメージにある「地域緑化の推進」「コミュニティガーデンの普及」「地域ぐるみの緑化推進」も「みどりをみんなで守り育てます」の施策に変更することも可能ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえて、表現や構成は再整理した。 		第3回
2 施策の内容				
基本方針1	<ul style="list-style-type: none"> 「1-3-1 魅力ある良好な景観形成」とあるが、「1-2 みどりを活かしたまちなみづくり」で整理した方が適切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえて、表現とあわせて構成を整理した 	P62	第4回
基本方針2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが農体験や土いじりができる場所が増えるとうい。学校ではバケツで米づくりの学習をしているようだが、土とのふれあいはできない。子どもたちが関わるみどりが増えていくとうい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「2-2-2 みどりを通してみんなが農体験できる場所をつくります」において、農体験の場の確保に向けた考え方として、区民農園の環境整備や民による屋上等での農園整備の推奨、田んぼの学校の運営などを整理した。 	P73	第2回
	<ul style="list-style-type: none"> 校庭の一部を菜園にするなど、色々な工夫の余地があるかと思う。 			第2回
	<ul style="list-style-type: none"> 若洲公園でお母さん方にヒアリングをした際にも、同じように農の体験ができる場所が少ないと仰っていた。若洲公園でも、畑で収穫した野菜をBBQで食べられたり、海で釣った魚を食べられたりといった楽しみがあるとよい。江東区は、一般的には自然が少ないという印象を持たれがちだが、実は資源が豊かである。最近、公園の一部を菜園にするサポートを行うようなNPOなども出てきている。 			第2回
	<ul style="list-style-type: none"> 白河・亀戸などはみどりが少ないとのことだが、公園が近くにあるとみどりが多い印象ができるので、少しでも増やしていただくと有難い。 			P96-P97 P109 -111
	<ul style="list-style-type: none"> 「2-1-2 みんなで魅力ある公園をつくります」、「●区民事業者と連携した公園づくり」について、先進事例のコラムを入れ、具体的なイメージができるようにすればより実現性が高まるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 官民連携をはじめとした今後の取組については、(仮称)みどりの基本計画推進会議において検討していく。 		第5回
	<ul style="list-style-type: none"> 「2-2-1 みどりを通してみんなが集まる場所をつくります」、「●コミュニティガーデン活動団体への支援」について、資材提供に限らないサポートができないか。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティガーデン活動団体への支援については、民間資金の活用など追記する。 	P72	第5回
基本方針3	<ul style="list-style-type: none"> 大型台風や豪雨への対策、熱中症対策など今後社会にもとめられることへの対応が示されると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえて、「3-1 みどりが支える安全・安心なまちづくり」として防災に関する視点を、「3-2 みどりが支える快適なまちづくり」として気候変動に対応した都市環境の改善に関する視点を整理した。 	P74-P79	第4回
	<ul style="list-style-type: none"> 「3-1-3 延焼を防止する接道部緑化の充実」とあるが、私有地を中心とした道路 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を行う意図をしっかりと押さえた、見出しの表現及び構成を調整した。 	P75	第4回

	<p>沿いのみどりの充実を図るのであれば、延焼防止よりは建物の倒壊などをみどりが防ぐことによる避難路の確保に寄与する面が大きいのではないか。</p>	<p>・「3-1-1 みどりで災害に強いまちをつくれます」として、具体的な内容として、「みどりによる安全な避難路の確保」を位置付けた。</p>		
基本方針 4	<p>・オリンピック・パラリンピックでは国内外から多くの人を訪れる。国内の人にも注目され、江東区はすごいと思われるようになるよ。</p>	<p>・「4-2 みどりの大切さを伝える仕組みづくり」において、みどりの情報発信の強化や普及啓発を推進するような施策について整理した。</p>	P84-P86	第3回
	<p>・教育・子育ての図を見ると、コミュニティガーデン、農園などが少ないと感じる。身近にあれば、親子で利用したいというニーズは多いと思う。区民ニーズとして、「みどりがあってよかったと感じるとき」として、「育てる・収穫する喜びが感じられる」と答えた人は14%にとどまっている。どこでどんな体験ができるか等について、もっと情報発信があるとよい。現状では、CIGという言葉さえ知らない区民も多い。</p>			第3回
	<p>・アイデアとして、例えばふるさと納税やクラウドファンディングのような仕組みを活用することも考えられないか。ふるさと納税の返礼品として、区内の農園を利用する権利を贈るようなイメージで、区民に何らかのメリットがあるとよい。</p>	<p>・「4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり」において、ふるさと納税の活用など新たな資金確保の手法の導入について整理した。</p>	P81	第3回
	<p>・子育て中の区民の立場としては、学校の校庭芝生化を進めてほしい。子どもが通う小学校は、改築に当たり芝生ではなくゴムチップになってしまい、残念である。</p>	<p>・区として校庭芝生化を進めているところであるが、環境の視点・児童の情操教育や学校運営の確保等を勘案し、全面ではなく一部を芝生化する方向である。</p> <p>・「4-1-2 次世代を担うみどりの人材を育てます」において、「学校教育との連携によるみどりの教育の推進」を位置付け、校庭の芝生化だけでなく学校のみどりの充実や、NPO 団体等との協働による学校教育と連携した環境教育などについて整理した。</p>	P83	第2回
	<p>・「4-1-5 学校教育との連携によるみどりの教育の推進」で議題になった屋上緑化について、NPO にもお手伝いいただき、区民ボランティアと町会で運営をするのはどうか。</p>			第4回
	<p>・「4-2-4 区民参加型みどりの調査」、「4-2-5 みどりの実態調査」は調査結果を伝えることに意義があると思うので、調べたことを見える化して、伝えていくことまで示したほうが良い。</p>	<p>・ご指摘を踏まえて、調査するだけでなく、結果を活用する考え方についても整理した。</p>	P86	第4回
	<p>・「4-2-4 区民参加型みどりの調査」、「4-2-5 みどりの実態調査」は調査結果を分析してどのように活用するかが重要であるので、そこまで示したほうが良い。</p>			第4回
	<p>・緑被率や緑視率の調査だけでなく、生き物調査などの生物多様性に関する調査を追加してほしい。</p>	<p>・ご指摘を踏まえて、「区民参加型みどりの調査」の内容に追加した。</p>	P86	第4回
	<p>・企業緑地に関する内容がどこに含まれるのか。企業の緑地がパブリックな空間として意義を持つことになるかと思う。</p>	<p>・官民連携によるみどりの整備に関する施策としては、「2-1 みんなが楽しく使える公園づくり」、「4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり」において整理した。</p> <p>・市民緑地認定制度等の活用については、「公園以外のオープンスペースの確保」として整理した。</p>	P70 P73 P80	第4回
	<p>・市民緑地制度に関する頭出しは入れてあったほうがよい。</p>			第4回
<p>・協働を進めていくステップとして、イベントなどによる関心を持ってもらい、次に講座等による人材育成、その後に活躍の場所</p>	<p>・「4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり」の「みどりを守り育てるリーダーの養成」として人材育成について整理</p>	P80 P83	第4回	

	づくりが必要であるが、活躍の場所づくりに関する内容が示せると良い。	するとともに、「区民によるみどりのボランティア活動の支援」等の活動支援について整理した。		
	・江東区にはネイチャーリーダーの仕組みがあったが、今は行われていないと聞いたが、今後のリーダー養成はどうしていくのか。	・現在具体的な事業は検討している段階であり、本計画では「みどりを守り育てるリーダーの養成」として整理した。	P83	第4回
	・マンションのベランダガーデニングの場合、庭と違い、草木を枯らしてしまうと廃棄に苦慮する状況。頻繁に回収してもらえる仕組みはないのか。	・ご指摘を踏まえて、「4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり」の「緑のリサイクルの推進」において、既に行っているイベント等の際の回収を継続するとともに、活動を拡大していくことを整理した。	P82	第4回
	・ベランダ緑化に関してはもう少し強調してもよいのではないかと。	・「2-2 みどりを使ったコミュニティづくり」の「みどりに関するイベント講座の開催」において、写真等も入れながらガーデニング講座を整理した。 ・また、「4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり」の「身近なみどりの創出支援」において、取組状況も記載しつつ、取組の支援を整理した。	P71 P81	第4回
	・「伝える」ことがとても重要であると感じている。CIGといった言葉も十分に浸透しておらず、知られていないと活動に参加することもできないので、「4-2-1CIG 推進イベントの開催」などの内容が具体的になるとよい。	・ご指摘を踏まえて、「4-2 みどりの大切さを伝えるしくみづくり」において、イベントの実施や普及・啓発品の配布について行う意図とあわせて整理した。	P84	第4回
	・教育分野としては、地域とPTAが連携していく仕組みづくりを進めている。環境教育などの施策を充実させていくつもりなので整合を図っていきたい。	・「4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり」において、「学校教育との連携によるみどり教育の推進」として整理した。	P83	第4回
	・みどりの大切さを伝えるしくみづくりとしても少し明確になるとよい。 ・「4-2 みどりの大切さを伝えるしくみづくり」で、「4-2-4 区民参加型みどりの調査」は「区民作成の「みどりのマップ配布」、 「4-2-5 みどりの実態調査」は「「みどりのデータ公表」という表現はどうか。	・ご指摘を踏まえて、表現及び構成を再整理した。 ・施策の具体的な内容としては、「区民参加型みどりの調査」、「みどりの魅力発見に向けたマップやホームページの作成」、「みどりの調査結果の公表」とし、現状をあわせた取組内容について整理した。	P86	第4回
第5章 重点施策				
共通	・重点施策として、ハード整備の印象を強く感じる。区民発意の取組や区民と連携してみどりを充実させていく印象を受けない。	・重点施策は、施策の中でも先導的に進める取組として整理している。官民連携事業などは記載している部分もあるが、現時点で決められない内容を先導的な取組として位置付けることは難しい。 ・区民との連携などに関しては、推進体制・進行管理で整理した。	P131 P132	第5回
	・本計画で示しているSDGsの中にも、区民等との連携を行っていくことが1つのゴールとして示されているので、そうした考え方をもって、計画の実施段階から区民意見が反映される仕組みがあるとよいのではないかと。	・ご指摘を踏まえて、「第7章 推進体制・進行管理」において考え方を整理した。	P134	第5回
	・社会環境の変化が激しい中で、どのようにその変化に柔軟に対応できるかが重要であり、その仕組みの考えが計画に含まれるとよい。			第5回

	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議の中で含まれるかと思うが、そうした計画推進の会議体の立ち上げを重点施策に含めてもよいのではないか。 ・「推進会議の設立」を重点施策に追加するものよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議に関しては、「第7章 推進体制・進行管理」で整理することとした。 	P133	第5回
				第5回
1 緑化重点地区				
	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑化重点地区」では分かりにくいので「緑化重点地区の指定・設定」などの表現としたほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえて、「緑化重点地区の指定」に修正した。 	P87	第5回
2 重点プロジェクト				
水辺の緑化推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・緑地の整備方針において、公園は整備予定等が示されている。重点施策としているので、水辺・潮風の散歩道についても整備予定箇所等は示せないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章では、「護岸工事や近隣住民との合意など、環境整備が整った区間から整備を進める」と整理し、整備対象となる箇所も図示した。 	P52 P54	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・整備の予定は難しいが、水辺・潮風の散歩道としての整備が想定される対象箇所は示せるのではないのか。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共緑化推進事業は、河川沿いの建物の緑化に限定しなくてもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえて、水辺の緑化を重点的に進め、区全体に展開していく考え方を整理した。 	P89	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトのねらいとして、水辺の緑化を推進することが、生物多様性に寄与することも追加したほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえて、プロジェクトの狙いに生物多様性の視点を追加した。 	P89	第5回
みんなでつくる公園プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどりをより柔軟に使えるようにします」の表現では、みどりが減ってしまうような整備・活用につながりうるように感じる。例えば、「多様な主体が使えるようにします」など表現を再考いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針なので変更することは考えていないが、ご意見を踏まえて、基本方針の説明に「みどりを保全しながら」の文言を追加した。 	P43	第5回
みんなでつくる公園プロジェクト 安全・安心なまちづくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・公園改修事業が、「みんなでつくる公園プロジェクト」「安全・安心なまちづくりプロジェクト」に示されているが、どのような意図があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業名で整理していることから、同じ表現となっているが、取組内容において、異なる内容であることを整理している。 ・かっこ書きを用いて、具体的な内容が伝わるように表現を調整する。 	P90 P91	第5回
みどりの中の都市(CIG)魅力発信プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成よりも、情報発信に力を入れていく理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査から、CIGが認識されていないことが分かり、まずは、知ってもらうことに力を入れていくこととした。 ・人材育成に関しては、施策の中で整理した。 	P83	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり100景や公園マップなどは作成しても、その後活用されない例が多い。作成後の活用の考え方も示せるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえて、活用に向けたホームページの作成など、区の魅力を発信していく。 	P86	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・CIG 民間緑化推進事業（SNS等を活用した情報発信）とあるが区が行っている事業やイベントに関する情報発信に加えて、民間企業や地域の団体による活動についても情報発信するという認識でよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りである。江東区みどり総合ポータルサイトを新たに開設し、様々な取組を発信していく。 	P92	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・CIG そのものを発信していくのであれば、計画書の表紙などにCIGのロゴを表示した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえて、現在公式のCIGロゴ、キャラクターは存在しない。今後CIGの普及を含め、区民公募によるCIGのロゴやキャラクターなどを検討する。なお、本計画書にはコラムで区の観光キャラクターを使用した。 		第5回
第6章 地区別取組方針				
構成	<ul style="list-style-type: none"> ・方針図における文章の書き込みも多い。もう少し端的な将来の姿が感じられる表現になるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書では、取組方針と方針図を別頁で整理した。方針図はA3で整理し、その頁だけ各地区の取組内容 		第5回

	<ul style="list-style-type: none"> ・方針図上の記載と取組方針の記載の書き分けはどのように考えているか。 	が概ね分かるよう整理した。		第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別取組方針においても、写真が追加されるとよい。 	・地区別取組方針の中にも、各地区の写真を追加した。		第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校にポケットエコスペースが設置されているという記載があるので、学校名が示されていると位置関係が把握しやすいと思う。 	・方針図に関しては、公共施設等が薄く示されている地図を重ねて表示し、場所がイメージできるように整理した。		第5回
第7章 推進体制・進行管理				
1 多様な主体の連携による推進				
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想に示されている、「区民が主体となってつくる」の思想にクローズアップした計画となるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の中でも多様な主体との協働による取組の考え方を示した。 ・また、活動のイメージとともに、多様な主体による協働の取組を展開していく考え方を整理し、「2 計画の進行管理」において、進捗管理や評価を行う組織として、「(仮称)みどりの基本計画推進会議」を立ち上げることを位置付けた。 	P131-P133	第5回
各主体の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・区と学校の役割が同じ行政の分類に違和感がある点や、NPO が事業者にもなりうるがもう少し区民に近い印象がある点など、各主体の役割に少し違和感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の役割を記載するのではなく、4つの基本方針に沿って、みんなのできる活動のイメージを整理した。 	P131 P132	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・区民、行政、事業者に分類されているが、想定できるステークホルダーは独立して示してもよいと思う。 			第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの主体ができることを考え、みどりのまちづくりに向けて連携していくというようなオープンな整理ができるとよい。 			第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・今回設定した4つの方針に沿って、江東区らしさが示せるとよい。 			第5回
2 計画の進行管理				
(仮称)みどりの基本計画推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や行政、地域とのコーディネーターがいて中間支援を行えると良い。サポーターとして管理活動に参加する地域の方は多いが、調整役まで行うは負担が大きく難しい。そうした中間支援の仕組みづくりについて記載できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の会議体を再編して設立する区民や事業者、行政、学識経験者などにより構成される(仮称)みどりの基本計画推進会議が、協働による新たな事業・既存事業の見直しについて提案を担うと想定している。 	P131 P132	第4回
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を推進する機能と計画の進捗を確認・評価する機能を同一組織が担うのでよいのか。両機能を1つの組織が行うことはかなり大変ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の評価は年に1回行い、その他の回において、計画の推進に向けた施策の展開等について検討することを想定している。 ・具体的な取組に関しては、取組ごとのステークホルダー同士で別途検討いただくことを 想定している。 	P131 P133	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・各主体の役割だけでなく、推進会議の役割も示す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえて、(仮称)みどりの基本計画推進会議の役割等を整理した。 	P133	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・、(仮称)みどりの基本計画推進会議に学識が入ってもらうことも必要かと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえて、追加した。 	P133	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画から会議体を変更するということをはっきり整理できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえて、再整理した。 	P133	第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の推進体制のほうが大きく示されているので、新しい推進体制を大きく示したほうがよい。 			第5回
	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議においては、改定委員会を母体とし、必要な人員を強化する形で、組織体を立ちあげるとよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改定委員会同様に、行政職員、町会・自治会、公募区民、事業者、学識により構成される組織を想定してい 	P133	第5回

	<ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称)みどりの基本計画推進会議」は臨時に区民から CIG 区民アドバイザーを募集してはどうか。新しい視点で意見をいただけるメリットと CIG の認知度上昇につながるのではないかと。(具体案) ・チェック会議の都度 2 名。 ・任期は一日限り。 ・参加謝礼は花の苗 (もしくは鉢植え植物、江東区のはちみつ等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民に参加いただくことは想定している。具体的な提案については、計画書は方針を示すものであるため、今後推進会議設立に向けた具体的な検討を進めていく際に参考にさせていただく。 	P133	第 5 回
進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ・改定計画には、施策の進捗状況や目標達成状況等の点検・検証を行うことを明確に位置付け、計画の進捗管理を行っていくことが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)みどりの基本計画推進会議を立ち上げ、計画の進捗状況について評価・点検することを位置付けた。 	P133 P134	第 1 回
	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCA はどのようなサイクルで回すのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には Do、Check を毎年度実施し、5 年、10 年での計画見直しを想定しており、各ステップの実施タイミング等について、「計画の進行管理のイメージ」で整理した。 	P134	第 5 回
	<ul style="list-style-type: none"> ・重点施策は実施のスケジュールが示されているが、計画全体のスケジュールについては、もう少し示さないとわかりづらい。 			第 5 回
	<ul style="list-style-type: none"> ・施策や事業などの中期的な目標・評価はどう考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点施策は 10 年間の期間において、前期の早い段階で検討し、実施するとしている。計画期間での施策の進め方や進捗状況について報告し、評価を行うことを想定している。 ・長期計画に記載のある事業については方向性が明確になっているが、その他の事業に関しては、毎年度、予算を要求して進めていくことになるため、1 年ごとの実績を踏まえての目標設定となる。 		第 5 回
<ul style="list-style-type: none"> ・1 年後の達成目標を前年に設定するという認識でよいか。 	第 5 回			